

八峰白神ジオパークが日本ジオパークに認定されました！！

平成24年9月24日、八峰白神ジオパークが日本ジオパークに認定されました。（認定されたことにより、八峰白神ジオパーク構想から「構想」がとれました。）

平成22年の協議会設立から、地域の方々と協力しながらジオツアー、出前講座、ガイド育成などに取り組んできましたが、その成果が認められた結果といえます。

今後は活動をより充実させ、教育や観光などへの活用を図っていく予定です。

☆八峰白神ジオパークのホームページができました。

<http://www.town.happou.akita.jp/index.php?pid=66>

（八峰町ホームページのトップページ内に入り口があります）



祝！
日本ジオパーク認定！

「ジオパークフェスティバルin八峰町」

開催のお知らせ

八峰白神ジオパークの発足おめでとうございます。

秋田大学では、この歴史的なできごとをお祝いするために「ジオパークフェスティバルin八峰町」を開催します。八峰町のみなさんぜひご参加ください。

- 1、日時 10月27日(土) 午後1:00~午後3:30
- 2、会場 旧岩館小学校2階
- 3、対象 八峰町にお住いの皆さん、八峰白神ジオパークに関心をお持ちの方
- 4、企画実施 秋田大学ジオパーク推進委員会
- 5、協力 八峰白神ジオパーク推進協議会
- 6、実験ブース

- ◎第1ブース：「ストレス発散！石割体験コーナー」
- ◎第2ブース：「体験しよう、キッチン火山実験」
- ◎第3ブース：「温度が見えちゃう！赤外線カメラで見る世界」
- ◎第4ブース：「ジオパークって何だろう？」
- ◎第5ブース：「缶バッジを作ろう」

- 7、費用 無料
- 8、申込 必要ありません。随時出入り可能です。
- 9、問合せ先 秋田大学教育文化学部内秋田大学ジオパーク推進委員会
電話：018-889-2651 メール：hayashi@ed.akita-u.ac.jp

連載

第21回

八峰白神ジオパーク

ジオポイントの紹介⑩



写真④石庭



写真③熊の土俵岩

チゴキ崎の美岩や奇岩 2000万年前の岩の神秘

今回はチゴキ崎の植物の話をのせましたので、今回は岩の話、それも岩の形の話をしたしたいと思います。チゴキ崎のまわりには変な形の岩や面白い形の岩がたくさんあります。岩の形を楽しむのもジオパークの楽しみです。では、美岩や奇岩をいくつか紹介しましょう。

〈熊のサンドイッチ岩〉写真①

チゴキ崎にある岩ですが、写真の通り幅50センチほどの黒パンにミルクジャムをはさみこんだようなまるでサンドイッチのような岩があります。チゴキ崎では熊と格闘した方がいるそうです。そこで、この岩を「熊のサンドイッチ岩」と呼びたいと個人的に思います。これはおそらく「複合岩脈」です。



写真①

サンドイッチ岩

〈1.5センチのキセキ〉写真②

キセキというのは、漢字では「輝ける石」と書きます。つまり、輝石という鉱物です。チゴキ崎の頂上付近の岩にこの鉱物が見えています。なんと1.5センチもあるのです。これは珍しいですね。まさに「1.5センチのキセキ」。火山岩の中の斑晶です。



写真②

輝石の結晶

〈熊の土俵岩〉写真③（上段右）

海岸沿いに少し北に歩くと、立派な門のような岩があります。その間を通り抜けると熊でも相撲ができそうな広い土俵のような場所があります。岩だらけの海岸線の中で突然現れる平らな岩盤には驚きを感じます。しかも、その岩の向こうは広大な海。心が洗われるような気がします。地

〈石庭〉写真④（上段左）

さらに北に歩きましょう。京都のお寺、例えば龍安寺などには、面白い形の岩を配置してその間に白砂を敷き詰めた石庭というものがあります。チゴキ崎の少し北にある場所にはまさに石庭のような景色です。突き出た岩の間に小石が敷き詰められたようすはまさに天然の石庭です。

〈座禪岩と須弥山岩〉写真⑤

石庭で瞑想に耽るのも良いのですが、もつといいところがあります。写真の座禪岩です。2畳ほどの平らな岩が須弥山のような、とがった岩の下にあります。古代インドで世界の中心にそびえていると考えられていた須弥山の下で瞑想にふけると本当に「さとり」が開けるのではという気になってしまいます。



写真⑤

〈これらの岩は〉

これらの岩はおそらく2000万年前の火山活動でできた溶岩や火山灰などです。仏教やキリスト教の誕生より前はるか古い岩たちということを考えるとさらに神秘的な感じがしませんか？
八峰町の秘密の奥庭であるチゴキ崎、大事にしたいですね。

八峰白神ジオパーク推進協議会

〒018-2612

秋田県山本郡八峰町八森字ノケソリ116

旧岩館小学校内
TEL 0185-78-2427

秋田大学教育文化学部 教授 林 信太郎